

中部興業(株)

七宗町・電気工事、土木工事

従業員数／男性52名 女性4名 計56名 ※令和4年11月現在

エクセレント POINT

- ①子どもの保育料を50%助成する園児助成金制度の導入
- ②ハローパパ休暇2日やイクメン休暇5日など男性の育児参加を支援
- ③女性技術者の採用に向けた働きやすい職場環境の整備



家庭や自己啓発の時間を創出

中部興業では、休日出勤と振替休日の精算を月ごとにすることで、振替の先延ばしを防いでいる。加えて、リフレッシュ休暇やボランティア休暇等を新たに設けるなど、休暇制度の見直しを行ったことにより、年次有給休暇の取得率は一年間で

2倍以上に向上。
また資格取得への意欲を促すため、2016年から資格手当制度を見直したことにより、資格挑戦者や合格者が増加。長谷川嘉彦代表取締役も「資格取得が個々の能力を上げ、作業が効率的になつた」と実感。結果、時間外労働の削減にも至つており、「今後も働きがいが持てる職場環境を提供したい」としている。

子育て支援にも熱心で、子どもの保育料50%を助成する園児助成金制度を設けている。他にも、男性社員の育児参加を支援する休暇制度も導入。「子どもの面倒をみられ、妻のフォローもできた」と振り返るのは、電気工事の現場管理を行い、19年度には男性社員の子の誕生

が2件あり、それぞれの社員がハローパパ休暇、イクメン休暇を取得し、育児休暇は孫の場合にも適用され、孫連れ出勤も可能。孫が生まれた時に育児休暇を取得した事務職の貝谷恵さんは、「娘が大変な時は、孫と出勤したこともある。周囲も面倒を見ててくれて助かった」と話す。

同社は、現場で働く女性技術職の採用にも注力し、女性にも働きやすい職場環境を整えている。



中嶋隆博さんはハローパパ休暇を取得し、2人の出産に立ち会った。また、イクメン休暇も取得し、里帰り出産後の妻をサポートすることができた。